令和６年 12 月 23 日

報 道 発 表

浜松市浜名区　北行政センター
地域振興・防災グループ
℡：053-523-1168

浜松市

細江町産温州（うんしゅう）みかんと白柳（しらやなぎ）ネーブルの皇室献上について

1967 年（昭和 42 年）秋に天皇陛下がお一人で浜松市浜名区細江町（旧細江町）にお成りになり、みかん狩りを楽しまれたことを契機に細江町特産の温州みかんと白柳ネーブルを皇室に献上しています。

今回で 56 回目の献上を迎え、「皇室ゆかりの地」としてつながりを大切にするとともに、細江町産の柑橘を全国にＰＲするため、地域あげて取り組んでいます。

１　献上みかん及びネーブル審査会

※献上する生産者を選定するための審査を行います。

(1)　日　時　　令和７年１月８日(水)　午前９時００分から

(2)　会　場　　北行政センター　３階　３１・３２会議室

(3)　対　象　　細江町内の生産者（公募）　温州みかん 24 品、白柳ネーブル７品

(4)　審査員

①　外観・肉質審査員

・静岡県西部農林事務所職員　１名
・静岡県果樹研究センター職員　１名
・とぴあ浜松農業協同組合職員　２名

②　食味審査員

・細江地域の料理人　２名（静岡県認定ふじのくに食の都づくり仕事人）
・細江町出身フリーアナウンサー　１名
・令和５年度姫様道中姫様　１名（細江地域を代表するイベント）
・浜松市立西気賀小学校児童　２名（皇室御一家御静養の地の児童）
・国民宿舎奥浜名湖　１名
・奥浜名湖観光協会　１名
・細江まちづくり協議会　１名
・浜松市職員（栄養士）１名
・浜松市職員（区長）　１名

２　審査後の予定

(1)　表彰式・献上品の箱詰め

・日　時　　令和７年１月１２日(日)　午前１０時３０分から
・会　場　　北行政センター　３階　３１・３２会議室
・内　容　　温州みかんの部、白柳ネーブルの部の受賞者を表彰します。
　　副市長・献上品の生産者立ち会いのもと、献上品を箱詰めします。

(2)　皇室への献上

・献上日　　令和７年１月１４日(火)
・献上先　　天皇皇后両陛下、上皇上皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下
・内　容　　上皇上皇后両陛下、秋篠宮皇嗣同妃両殿下については、宅配にて献上します。

◎皇室との関わりについて

1967 年（昭和 42 年）11 月
みかん狩りをされる天皇陛下

1967 年（昭和 42 年）秋に 7 歳の徳仁（なるひと）親王殿下（現天皇陛下）がお一人で浜松市浜名区細江町(旧細江町)にお成りになられたことを契機に、皇室御一家は 1968 年（昭和 43 年）から 1973 年（昭和 48 年）までの毎年と、1977 年（52 年）、1978 年（53 年）、1983 年（58 年）の夏に当地（プリンス岬、平野社団西気賀保養所）で御静養され、奥浜名湖の恵まれた自然の中でお過ごしになりました。

御一家が 9 回にわたり当地においでになったのは、ハゼやクロダイ等の魚が数多く生育している浜名湖が魚の御研究に好条件であったことや、都会では体験できない自然や地方の生活が三人のお子様の教育の場所としてお気に召されたのではないかと言われています。

御一家が御静養の際には、住民とも気軽にお言葉を交わされ、併せて地元児童との御交歓を賜る光栄に浴しており、皇室に寄せる住民の親近感は大変深いものがあります。

皇室への献上は、1967 年（昭和 42 年）天皇陛下が初めて当地にお成りになった際に農協選果場のご見学やみかん狩りを楽しまれたことから、温州みかんを 1969 年（昭和 44 年）以降、白柳ネーブルを 1982 年（昭和 57 年）以降毎年（昭和天皇御崩御の年を除く。）献上いたしております。

1971 年（昭和 46 年）8 月
西気賀小児童とソフトボールを
楽しまれる天皇陛下

1978 年（昭和 53 年）8 月
保養所前にて、御遊泳後の御一家

（参考）献上品について

1　温州みかん

一般に「みかん」と呼ばれる日本の代表的な柑橘で、皮が薄くてむきやすく、食べやすいのが特徴です。特に代表的な品種である「青島温州」は、高い糖度と濃厚な味わいから、消費者にたいへん人気があります。

2　白柳ネーブル

柑橘生産国におけるオレンジの主流品種で、静岡県では西部地域を中心に生産されています。

中でも当地で生まれた品種「白柳ネーブル」は、糖度が高く酸味が少ないうえ、他の品種に比べ大玉でも食味が劣らないのが特徴です。

≪本件に関する問合せ先≫
浜松市浜名区　北行政センター　地域振興・防災グループ
TEL：053-523-1168　Fax：053-523-1907　E-mail：n-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp